

管理マニュアル

LAN DISK

HDL-XRW シリーズ、HDL-XR2UW シリーズ

すぐ取り出せる場所に保管してください

使う前に

導入する

起動時

故障時の対応

資料

もくじ

注意事項など

本製品を使う上で、お守り
いただきたいご注意です。
必ずお読みください。

使う前に

安全のために.....	3
使用上のご注意.....	5
内容物を確認する.....	7
動作環境.....	7
オプション品.....	8
各部の名称・機能.....	9

初期設定

本製品の設置・導入方法で
す。
運用にあたって必要最低限
の設定です。

導入する

おすすめの使用環境.....	13
導入の前に.....	13
設置する.....	15
設定画面を開く.....	16
NarSuS に登録する.....	19
かんたん設定.....	24
本製品を更新する.....	27
添付ソフトをインストールする.....	28
ネットワークから共有へアクセスする.....	29
画面で見るマニュアルの見かた.....	32
電源を切る場合.....	33
導入時のトラブル.....	34

故障時の対応

故障と思ったらご確認くだ
さい。

ランプが赤く光った時の対応

ランプが赤点灯・点滅したら.....	35
ランプの状態を確認する.....	36

故障時の対応

カートリッジの交換方法.....	38
RAID 崩壊したときの対処.....	41

その他の情報

その他本製品の資料情報で
す。

資料

文字制限一覧.....	44
Activemage Protector Desktop インストールのお問い合わせ.....	46
本製品のアフターサービス.....	47
ハードウェア保証規定.....	49

使う前に

使う前に

導入する

赤ランプ時




故障時の対応

資料



安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

● 警告および注意表示

 危険	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険が生じます。
 警告	この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。
 注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

● 絵記号の意味

 禁止
 指示を守る

危険

本製品を修理・改造・分解しない



火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

警告

雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない



感電の原因となります。

故障や異常のまま、つながない



本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してください。そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。

ぬらしたり、水気が多い場所で使わない



水や洗剤などが本製品にかかると、隙間からしみ込み、発火・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの（コップ、花びんなど）を上に置かないでください。
・掃除は必ず乾いた布でおこなってください。
・万一、本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

本製品の小さな部品を乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込み、窒息や胃などのへ障害の原因になります。
万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない



火災の原因となります。

本製品の取り付け、取り外し、移動は、必ずパソコン本体・周辺機器および本製品の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いてからおこなう



電源プラグを抜かずに行くと、感電の原因となります。

決められた電源で使用する



所定以外の電源で、本製品を使用すると火災・感電の原因となります。

煙がでたり、変なおいや音がしたら、すぐに使うのを止める



そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

警告 ●電源（コード・プラグ）について

電源コードは、添付品または指定品のもの以外を使用しない



電源コードから発煙したり火災の原因になります。

添付の電源コードは、他の機器につながらない



発火や感電の原因になります。
添付の電源コードは、本製品専用です。

AC100V（50/60Hz）以外のコンセントに接続しない



発熱、火災の恐れがあります。

コンセントまわりは定期的に掃除する



長期間電源プラグを差し込んだままのコンセントでは、つもったホコリが湿気などの影響を受けて、発火の原因になります。（トラッキング現象）

トラッキング現象防止のため、定期的に電源プラグを抜いて乾いた布で電源プラグをふき掃除してください。

熱器具のそばに配線しない



電源コード被覆が破れ、火災や感電、やけどの原因になります。

電源コードにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工などはしない



電源コードがよじれた状態や折り曲げた状態で使用しないでください。
電源コードの芯線（電気の流れるところ）が断線したり、ショートし、発火・感電の原因になります。

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く



そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

ゆるいコンセントにつながらない



電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでゆるみがあるコンセントにはつながらないでください。発熱して火災の原因になります。

じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど、保温・保湿性の高いものの近くで使わない



火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない



電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると傷が付き、火災や感電の原因になります。

テーブルタップを使用する時は定格容量以内で使用、たこ足配線はしない



テーブルタップの定格容量（1500Wなどの記載）を超えて使用するとテーブルタップが過熱し、発火の原因になります。

注意

本製品を踏まない



破損し、ケガの原因となります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

取り付け、取り外しの際は手袋をつける



ハンダ付けの跡やエッジ部分などがとがっている場合があります。誤って触れると、けがをするおそれがあります。

人が通行するような場所に配線しない



足を引っ掛けると、けがの原因になります。

使用上のご注意

《重要》データバックアップのお願い

本製品は精密機器です。突然の故障等の理由によってデータが消失する場合があります。

万一に備え、本製品内に保存された重要なデータについては、必ず定期的に「バックアップ」をおこなってください。

本製品または接続製品の保存データの破損・消失などについて、弊社は一切の責任を負いません。また、弊社が記録内容の修復・復元・複製などを行うこともできません。なお、何らかの原因で本製品にデータ保存ができなかった場合、いかなる理由であっても弊社は一切その責任を負いかねます。

バックアップとは

本製品に保存されたデータを守るために、別の記憶媒体（HDD・BD・DVD など）にデータの複製を作成することです。（データを移動させることは「バックアップ」ではありません。同じデータが2か所にあることを「バックアップ」と言います。）

万一、故障や人為的なミスなどで、一方のデータが失われても、残った方のデータを使えますので安心です。不測の事態に備えるために、必ずバックアップを行ってください。

最新のファームウェアをご利用ください

本製品のハードウェア保証適用のために、ファームウェアまたはソフトウェアは常に弊社が提供する最新版にアップデートしてご利用ください。最新版でない場合、保証適用を受けられない場合もあります。

本製品を廃棄や譲渡などされる際のご注意

- ハードディスクに記録されたデータは、OS上で削除したり、ハードディスクをフォーマットするなどの作業をおこなっただけでは、特殊なソフトウェアなどを利用することで、データを復元・再利用できてしまう場合があります。その結果として、情報が漏洩してしまう可能性もありますので、情報漏洩などのトラブルを回避するために、データ消去のソフトウェアやサービスをご利用いただくことをおすすめします。

※ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくハードディスクを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

- 本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

その他のご注意

- 本製品は、RAID 構成により、ハードディスクの故障によるデータの破損およびシステムダウンを防ぐことはできますが、ウィルスの感染やユーザーの操作ミス、使用中の停電などのトラブルに起因するデータ損失を防ぐことはできません。USB 接続した HDD などへのバックアップしてください。
- 動作中に本製品や外付 HDD の電源を切らないでください。故障の原因になったり、データを消失するおそれがあります。
- 本製品はローカルネットワーク上でご利用ください。本製品にグローバル IP アドレスを割り当て、直接インターネットに公開すると非常に危険です。ルーターを設置するなどして、インターネットから攻撃を受けないようにするなど、お客様にてセキュリティ確保をお願いいたします。
- 本製品内蔵 HDD は、本製品専用フォーマットでフォーマットされています。他のフォーマット形式（FAT、NTFS など）にフォーマットできません。

お手入れについて

本製品についた汚れなどを落とす場合は、本製品の電源を切り、電源コードを抜いてから、柔らかい布で乾拭きしてください。

- 汚れがひどい場合は、水で薄めた中性洗剤に布をひたして、よく絞ってから汚れを拭き取り、最後に乾いた布で拭く。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使わない。変質したり、塗装をいためたりすることがあります。
- 市販のクリーニングキットは使わない。

使用ソフトウェアについて

本製品には、GNU General Public License Version3（GPL v 3）に基づいた、ソフトウェアが含まれています。

変更済み GPL 対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、弊社のホームページにてご確認ください。

これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作者は一切のサポートの責を負いませんのでご了承ください。

この装置は、クラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

内容物を確認する

- 本製品 (1 式) LAN ケーブル (1 本) 電源コード (1 本)
 ロックキー (2 個) マスターキー保存用 USB メモリー (1 個)
 インデックスシール (4 枚) USB ロックキーシール (2 枚)
 サポート CD-ROM (1 枚) 管理マニュアル (本書)
 イメージングバックアップソフト [ActiveImage Protector Desktop Edition] CD-ROM (1 枚)
 (【ActiveImage Protector Desktop インストールのお問い合わせ】(46 ページ) 参照)
 ※以下は HDL-XR2UW シリーズのみの付属品です。
 ラック取り付け金具 (2 個) ネジ (8 本) カートリッジスイッチ固定具 (4 個)
 ネジ/ナット (各 4 本) ゴム足 (2 本)

ユーザー登録はこちら…<https://ioportal.iodata.jp/>

ユーザー登録にはシリアル番号 (S/N) が必要となりますので、メモしてください。
シリアル番号 (S/N) は本製品貼付のシールに印字されている 12 桁の英数字です。
(例: ABC1234567ZX)



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

動作環境

サポート対応機種

LAN インターフェイスを搭載し、TCP/IP 通信が正常に動作する以下の機種。
本製品の設定には Internet Explorer 6.0 以降、Safari 3.0 以降の Web ブラウザーが必要です。

Windows パソコン	Windows 8.1 (32/64 ビット版) ^{*1}	Windows 8 (32/64 ビット版) ^{*1}
	Windows 7 (32/64 ビット版)	Windows Vista (32/64 ビット版)
	Windows Server 2012/R2 ^{*2}	Windows Server 2008/R2 ^{*3*5}
	Windows Server 2003 SP1/R2 ^{*4*5}	
Mac	Mac OS 10.4 ~ 10.9	

※1 設定画面はデスクトップモードで、Internet Explorer 10 の互換モードを有効にしてください。

※2 フルインストールのみ対応。

※3 Standard/Enterprise のみ対応、Server Core モードには対応していません。

※4 Standard (32 ビット) / Enterprise (32 ビット) のみ対応。

※5 本製品に作成した共有フォルダーへのアクセス、および NT ドメインログオン・Active Directory ログオン機能のみ対応し、Web ブラウザーによる設定画面操作、プリントサーバー機能等はサポート対象外です。

Windows XP、2000、2000 Server をご使用の場合

本製品の操作については、サポート対応させていただきますが、OS に起因する技術的問題が発生した場合、調査および解決することができない場合があります。ご了承ください。

ご注意

●本製品および別売オプション HDD 以外のご利用はサポート対応外となります。

対応外付け機器

動作確認済み機器については、以下の弊社ホームページの製品情報をご覧ください。

■ USB HDD

http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_hdd.htm

■ USB 機器・プリンター

http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_function.htm

■ UPS

http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/landisk_ups.htm

ご注意

- 外付 HDD をはじめて本製品に接続して使用する場合は、必要に応じてフォーマットをおこないます。
- バスパワーモードのハードディスクは、本製品では利用できません。必ずセルフパワーモードをご利用ください。
- プリンターの双方向機能には対応していません。
- デジタルカメラは USB マスストレージクラスの転送に対応している必要があります。
- USB ハブは接続できません。
- 省電力設定の対応機器は、上記弊社ホームページをご覧ください。
(省電力設定の動作確認機種以外には省電力設定を有効にしないでください。)

オプション品

■ カートリッジ

以下の弊社ホームページを参照し、本製品の容量にあったカートリッジをお買い求めください。

http://www.iodata.jp/product/hdd/taiou/nas_hdd.htm

■ ファン

HDL-XRW シリーズ	弊社製 RHD-FAN
HDL-XR2UW シリーズ	弊社製 2U-FAN

■ ラックマウントレール ※ HDL-XR2UW シリーズのみ

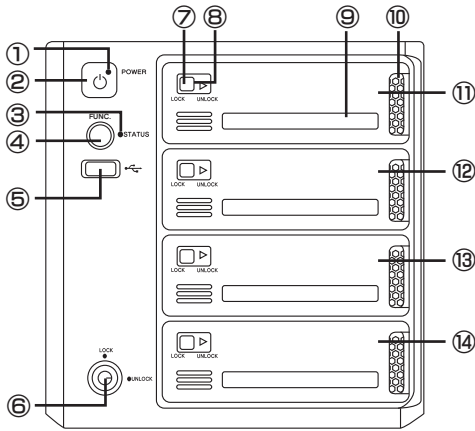
弊社製 2U-RAIL

ご注意

- オプションカートリッジには、システムはインストールされていません。
- 本製品の容量を後から増やすことはできません。容量の大きいカートリッジに交換した場合、自動的に小さい容量に調整されます。

各部の名称・機能

HDL-XRW シリーズ 前面



① POWER ランプ	緑点灯	電源コードが電源コンセントに接続されている状態（スタンバイ状態）
	赤点灯	電源 ON 時
②電源ボタン		本製品の電源を入/切します。
③ STATUS ランプ	緑点灯	正常に起動完了した状態
	緑点滅	システム処理中
	赤点滅	ディスクエラー、使用量警告、使用量制限警告、UPS に関するエラー状態（エラーに対処するまで点滅し続けます。エラー内容は設定画面の「お知らせ」で確認してください。）
	赤点灯	赤点滅以外のエラー状態（FUNC ボタンを押すか、設定画面の「お知らせ」を確認すると緑点灯 / 点滅に変わります。）
④ FUNC ボタン		前面の USB ポート 1 に接続した USB 機器のデータを、内蔵 HDD にコピーします。“ピッ”と音がするまで押します。
⑤ USB ポート 1		USB 機器を接続します。 ※バスパワーは使用できません。必ずセルフパワーにてご利用ください。 ※パソコンの USB ポートとの接続はできません。 ※暗号化 RAID モード使用時の USB ロックキーとする USB メモリーは USB ポート 1 にのみ接続できます。
⑥カートリッジ固定ロック	UNLOCK	すべてのカートリッジのスライドスイッチを操作（LOCK/UNLOCK）できるようにします。
	LOCK	すべてのカートリッジのスライドスイッチを UNLOCK できない（カートリッジを取り外せない）ようにします。
⑦スライドスイッチ	UNLOCK	カートリッジをスロットから取り外す時にスライドさせます。
	LOCK	カートリッジを取り付けたときにスライドさせます。
⑨ ACCESS ランプ	青点灯	内蔵 HDD へアクセスがない状態
	青点滅	内蔵 HDD へアクセス中
	赤点灯	起動停止 / RAID 崩壊時にディスクが接続されているスロット
	赤点滅	内蔵 HDD が故障しているか容量不足
	消灯	取り外し処理が完了した状態
⑩シール添付位置		添付の [インデックスシール] を貼ります。
⑩取っ手		カートリッジを取り外す時に使用する取っ手です。※吸気口となっていますので、ふさがりません。
⑪～⑭カートリッジ（スロット） 1～4		カートリッジを挿入する場所です。

使う前に

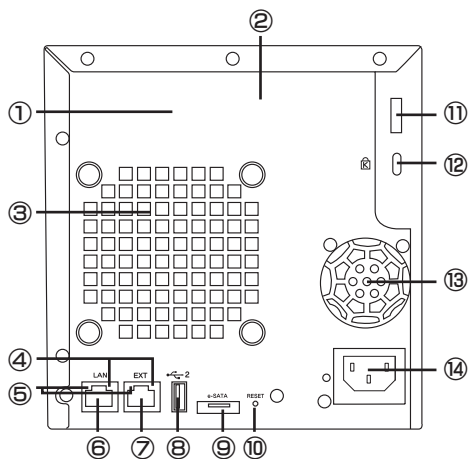
導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

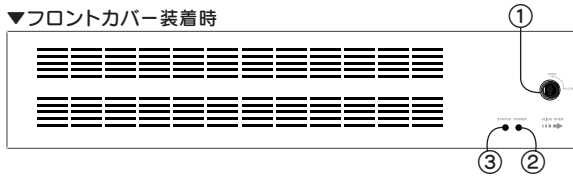
HDL-XRW シリーズ 背面



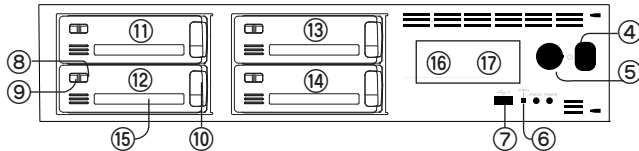
①シリアル番号 (S/N)	12桁の英数字です。ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードの際に使用します。	
② MAC アドレス	本製品の MAC アドレスである 12 桁の英数字です。	
③メインファン	本製品全体を冷却します。ふさがないでください。	
④ ACT/LINK ランプ	黄点灯	LINK 中
	黄点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⑤ 1000/100/10 ランプ	橙点灯	1000BASE-T で接続中
	緑点灯	100BASE-TX で接続中
	消灯	未接続、または 10BASE-T で接続中
⑥ LAN ポート	本製品添付の LAN ケーブルを接続します。 ※ Auto MDI/MDI-X のため、ストレートおよびクロスケーブルのどちらでも接続できます。	
⑦ EXT ポート	レプリケーション機能をご利用する場合や、異なるネットワークに接続する場合に使用します。 ※ Wake On LAN 機能には対応しておりません。 ※ Auto MDI/MDI-X のため、ストレートおよびクロスケーブルのどちらでも接続できます。	
⑧ USB ポート 2	USB 機器を接続します。 ※ バスパワーは使用できません。必ずセルフパワーにてご利用ください。 ※ プリンターは USB ポート 2 のみ接続できます。 ※ パソコンの USB ポートとの接続はできません。	
⑨ eSATA ポート	eSATA 機器を接続します。 ※ パソコンの eSATA ポートとの接続はできません。	
⑩ RESET ボタン	本製品の [IP アドレス] [管理者パスワード] [ジャンボフレーム] 設定を初期化します。(データは残ります) LAN ケーブルを取り外した後、本製品の電源を入れたまま、[STATUS] が点滅するまで、約 2 秒以上押しと初期化されます。 ※ すべてを初期化する場合は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。	
⑪セキュリティスロット	市販のセキュリティワイヤーをつなぐことができます。	
⑫ Kensington スロット	盗難防止用のロックケーブルを取り付けることができます。	
⑬電源ファン	電源ユニットを冷却します。ふさがないでください。	
⑭電源コネクタ	添付の電源コードをつなぎます。	

HDL-XR2UW シリーズ 前面

▼フロントカバー装着時



▼フロントカバー取り外し時



※フロントカバーの取り外し方は、【HDL-XR2UW シリーズ フロントカバーの取り付け / 取り外し方法】(14 ページ)をご覧ください。

①フロントカバー固定フック		フロントカバーを取り外すときに、UNLOCK にします。
② POWER ランプ	緑点灯	電源コードが電源コンセントに接続されている状態 (スタンバイ状態)
	赤点灯	電源 ON 時
③ STATUS ランプ	緑点灯	正常に起動完了した状態
	緑点滅	システム処理中
	赤点滅	ディスクエラー、使用量警告、使用量制限警告、UPS に関するエラー状態 (エラーに対処するまで点滅し続けます。エラー内容は設定画面の「お知らせ」で確認してください。)
	赤点灯	赤点滅以外のエラー状態 (FUNC ボタンを押すか、設定画面の「お知らせ」を確認すると緑点灯 / 点滅に変わります。)
④フロントカバー固定ロック穴		フロントカバーのロックをかけるための穴です
⑤電源ボタン		本製品の電源を入 / 切します。
⑥ FUNC ボタン		前面の USB ポート 1 に接続した USB 機器のデータを、内蔵 HDD にコピーします。“ピツ”と音がするまで押します。
⑦ USB ポート 1		USB 機器を接続します。 ※バスパワーは使用できません。必ずセルフパワーにてご利用ください。 ※パソコンの USB ポートとの接続はできません。 ※暗号化 RAID モード使用時の USB ロックキーとする USB メモリーは USB ポート 1 にのみ接続できます。
⑧スライドスイッチ	UNLOCK	カートリッジをスロットから取り外す時にスライドさせます。
	LOCK	カートリッジを取り付けたときにスライドさせます。
⑨ ACCESS ランプ	青点灯	内蔵 HDD へアクセスがない状態
	青点滅	内蔵 HDD へアクセス中
	赤点灯	起動停止 / RAID 崩壊時にディスクが接続されているスロット
	赤点滅	内蔵 HDD が故障しているか容量不足
	消灯	取り外し処理が完了した状態
⑩取っ手		カートリッジを取り外す時に使用する取っ手です。※吸気口となっていますので、ふさがないでください。
⑪～⑭カートリッジ (スロット) 1～4		カートリッジを挿入する場所です。
⑮シール添付位置		添付の [インデックスシール] を貼ります。
⑯シリアル番号 (S/N)		12 桁の英数字です。ユーザー登録やサポートソフトのダウンロードの際に使用します。
⑰ MAC アドレス		本製品の MAC アドレスである 12 桁の英数字です。

使う前に

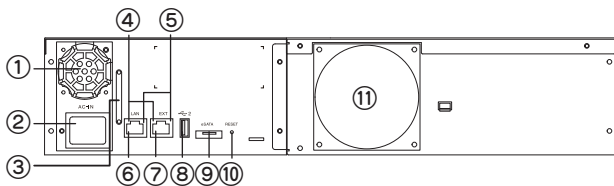
導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

HDL-XR2UW シリーズ 背面



①電源ファン		電源ユニットを冷却します。ふさがないでください。
②電源コネクター		添付の電源コードをつなぎます。
③ AC 固定具		電源コードの抜け防止に使用します。
④ 1000/100/10 ランプ	橙点灯	1000BASE-T で接続中
	緑点灯	100BASE-TX で接続中
	消灯	未接続、または 10BASE-T で接続中
⑤ ACT/LINK ランプ	黄点灯	LINK 中
	黄点滅	データを送受信中
	消灯	未接続
⑥ LAN ポート		本製品添付の LAN ケーブルを接続します。 ※ Auto MDI/MDI-X のため、ストレートおよびクロスケーブルのどちらでも接続できます。
⑦ EXT ポート		レプリケーション機能をご利用する場合や、異なるネットワークに接続する場合に使用します。 ※ Wake On LAN 機能には対応していません。 ※ Auto MDI/MDI-X のため、ストレートおよびクロスケーブルのどちらでも接続できます。
⑧ USB ポート 2		USB 機器を接続します。 ※ バスパワーは使用できません。必ずセルフパワーにてご利用ください。 ※ プリンターは USB ポート 2 のみ接続できます。 ※ パソコンの USB ポートとの接続はできません。
⑨ eSATA ポート		eSATA 機器を接続します。 ※ パソコンの eSATA ポートとの接続はできません。
⑩ RESET ボタン		本製品の [IP アドレス] [管理者パスワード] [ジャンボフレーム] 設定を初期化します。(データは残ります。) LAN ケーブルを取り外した後、本製品の電源を入れたまま、[STATUS] が点滅するまで、約 2 秒以上押しと初期化されます。 ※ すべてを初期化する場合は、【画面で見るマニュアル】をご覧ください。
⑪ メインファン		本製品全体を冷却します。ふさがないでください。

導入する

使う前に

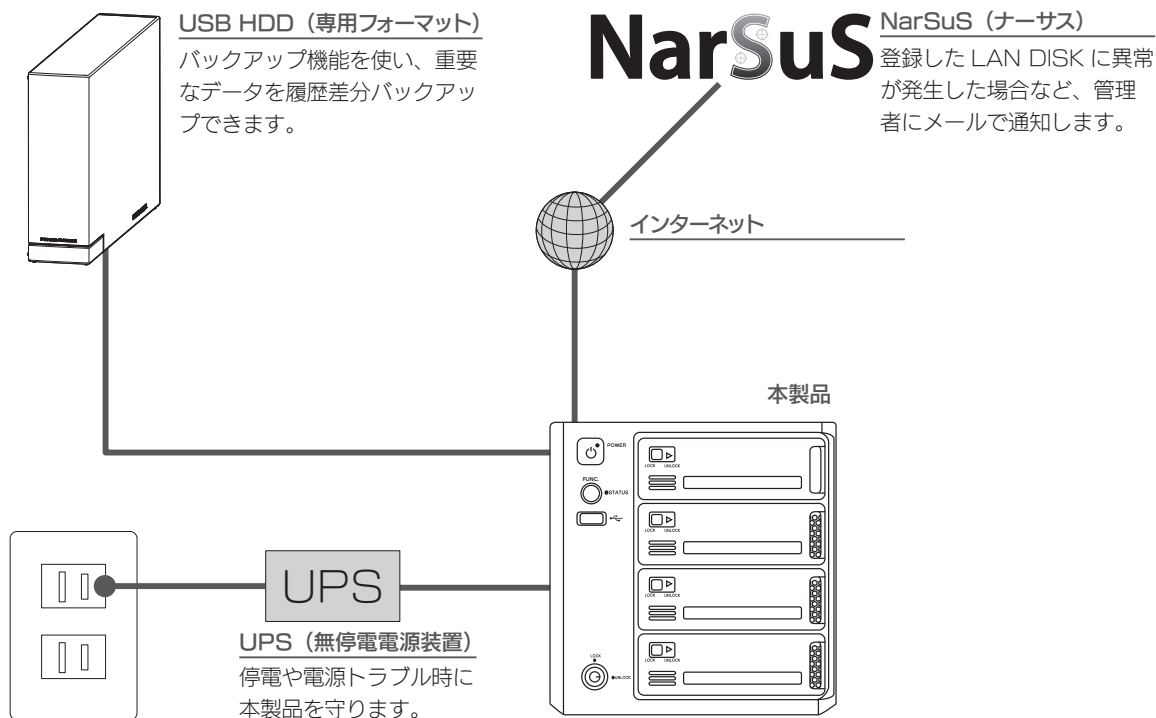
導入する

赤ランプ時

故障時の対応

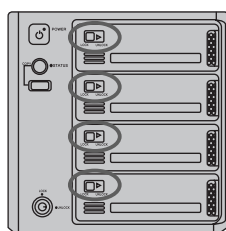
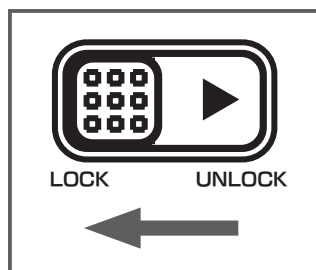
資料

おすすめの使用環境



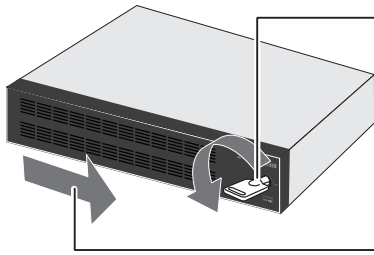
導入の前に

- ネットワーク内のパソコン、ルーター、アクセスポイントなどが正常に動作していることを確認してください。
- 設定の前に、すべてのスライドスイッチが左端 (LOCK) までしっかりスライドされていることをご確認ください。
HDL-XR2UW シリーズは、フロントカバーを取り外してご確認ください。
(方法は次ページ参照)



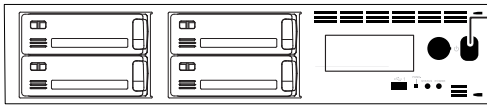
HDL-XR2UW シリーズ フロントカバーの取り付け / 取り外し方法

●フロントカバー取り外し



- ①フロントカバーのロックを OPEN に回す
- ②フロントカバーを右へスライドさせ、パネルを持ち上げるように外す

●フロントカバー取り付け

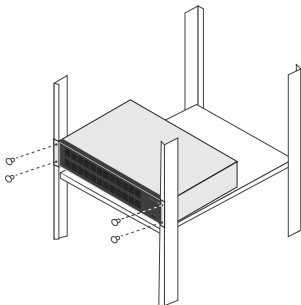


- ①フロントカバーを右方向からロック穴に鍵機構部を通すように差し込む
- ②フロントカバーを左へスライドさせる
- ③フロントカバーのロックを LOCK に回す

HDL-XR2UW シリーズ ラックマウント取り付け方法



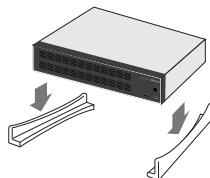
- ①添付のネジを利用してラック取り付け金具を本製品の左右に、固定する



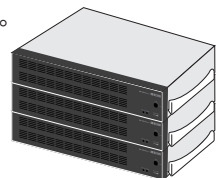
- ②添付のネジを利用し、本製品をお使いのラックマウントへ取り付け

※設置時は本製品を落としたり、手をはさまないようにご注意ください。

平置き（スタック）にして使う場合
付属のゴム足を使用します。



3 台までスタックできます。

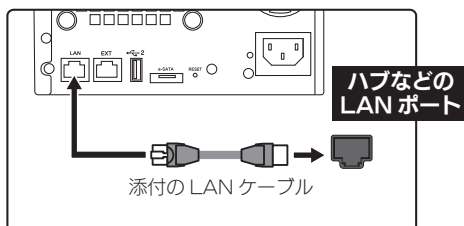


設置する

1 添付の LAN ケーブルを本製品とハブにつなぐ

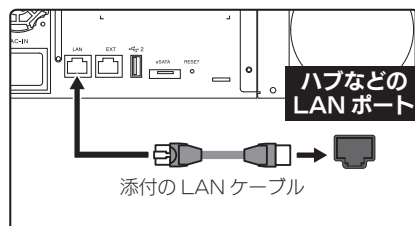
▼ HDL-XRW シリーズ

**本製品の
LAN ポート**



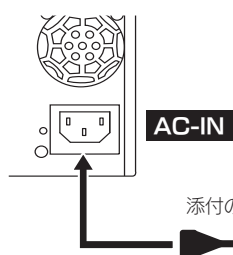
▼ HDL-XR2UW シリーズ

**本製品の
LAN ポート**

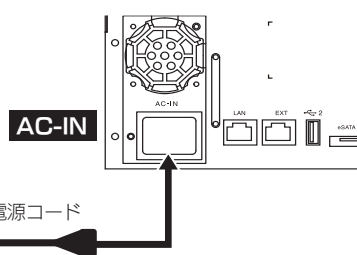


2 添付の電源コードを本製品とコンセントにつなぐ

▼ HDL-XRW シリーズ



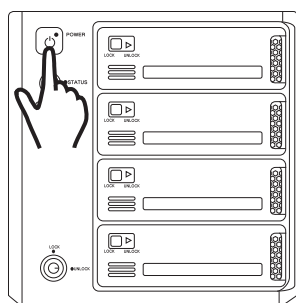
▼ HDL-XR2UW シリーズ



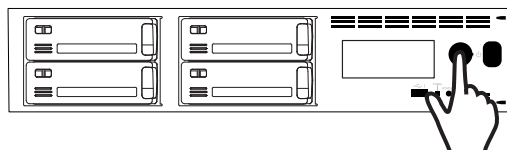
コンセントへ

3 前面の電源ボタンを押す

▼ HDL-XRW シリーズ



▼ HDL-XR2UW シリーズ



ご注意

- 動作中にシャットダウンを完了せずに、電源コードを抜いたり、スイッチ付き AC タップのスイッチを OFF にするなどして電源を切らないでください。故障の原因になったり、データが消失する恐れがあります。電源の切り方については、【電源を切る場合】(33 ページ) をご覧ください。
- 必ず、LAN ケーブルが確実に接続されていることを確認してから本製品の電源を入れてください。LAN ケーブルを接続する前に本製品の電源を入れると、正しくネットワークに参加できなくなります。

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

設定画面を開く

1 本製品と同じネットワークに接続されたパソコンを起動する

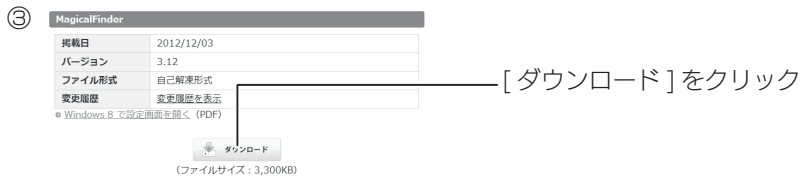
2 かんたん IP アドレス設定ツール「Magical Finder」をダウンロードする

※最新バージョンの Magical Finder をご利用ください。

Magical Finder のダウンロード方法

※インターネット接続環境が必要です。

①「サポートライブラリ」にアクセスする → <http://www.iodata.jp/r/3022>

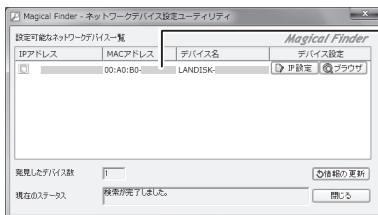


④ダウンロードしたファイルを解凍する

インターネットに接続できない場合

サポート CD-ROM をセットし、メニューから「Magical Finder」を起動します。

3 Magical Finder を起動し、本製品が検索されたことを確認する



確認

※出荷時設定で製品ごとに [LANDISK-xxxxxxx] の名前が設定されています。(xxxxxxx は、MAC アドレスの下 6 桁。MAC アドレスは、本製品背面に記載されています。)

ご注意

- 本製品の電源が入っていることをご確認ください。
- 本製品が正しくネットワークに接続されていることをご確認ください。
- 30秒ほど待ってから、[情報の更新] ボタンをクリックしてください。
- セキュリティソフトのファイアウォール機能を解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティ機能を解除してご確認ください。詳しくは、セキュリティソフトメーカーにお問い合わせください。

使う前に

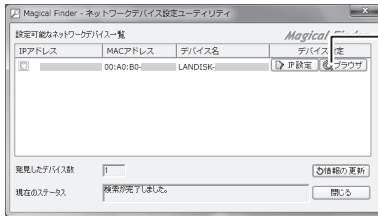
導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

4



[ブラウザ] をクリック

※ IP アドレスを固定設定する場合は、以下手順の管理者パスワードを設定してから、【IP アドレスを固定設定する場合】(18 ページ) をご覧ください。

5



設定画面が表示されたら、
[かんたん設定] をクリック

6



何も入力せずに
[ログオン] をクリック

※すでに管理者パスワードを設定している場合は、設定した管理者パスワードを入力し、[ログオン] をクリックするとログオンできます。

7



①管理者パスワードを入力
※ 4～20文字以内(半角英数記号)

② [設定する] をクリック

管理者パスワードについて

●管理者は、本製品の全設定やすべての共有（全員共有、ユーザー共有、グループ共有）にアクセスできる権限を持っています。

※すべての共有にアクセスできるのは、Windows からだけです。他人にパスワードが漏れないようしっかり管理し、定期的に変更してください。

※管理者パスワードは、次の場合に使います。

- ・本製品の設定画面を開く
- ・Magical Finder から IP 設定画面を開く
- ・管理者として共有フォルダーにアクセスする
- ・LAN DISK Admin 使用時、対象機器の情報を取得・設定する
- ・LAN DISK Restore 使用時、対象機器の情報を取得・復元する
- ・SightOn 使用時、対象機器の共有フォルダーを監視対象とする

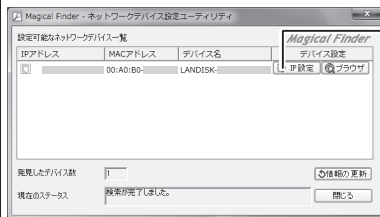
●管理者パスワードを忘れてしまった場合

本製品の RESET ボタンを押すと、管理者パスワードとネットワーク設定が出荷時設定に戻ります。

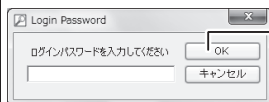
本製品の設定画面が表示されます。

次に【NarSuS に登録する】（19 ページ）へお進みください。

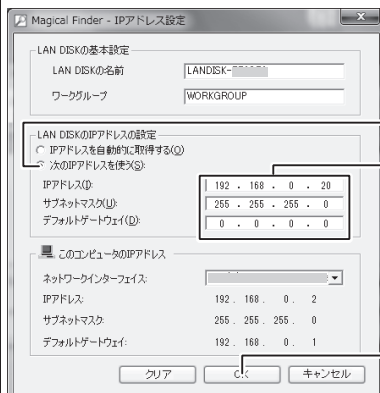
IP アドレスを固定設定する場合



① [IP 設定] をクリック



② 何も入力せずに [OK] をクリック



③ [次のIPアドレスを使う] を選ぶ

④ IP アドレス等を入力

⑤ [OK] をクリック

※本製品の IP アドレスは、設定用パソコンの IP アドレスと同じサブネット上に設定してください。設定用パソコンの IP アドレスは、この画面の [このコンピュータの IP アドレス] で確認できます。

NarSuS に登録する

NarSuS (ナーサス) とは?

NarSuS は、24 時間 365 日、あなたの NAS を見守る安心サービスです。NAS にトラブルが発生したら、自動的に NarSuS データセンターに状態が送信されます。NarSuS データセンターは、それを受けてユーザーにメールでトラブルをお知らせします。画面に表示される対処方法にしたがって作業すればトラブル対策ができます。

- 問題が発生したら、メールでお知らせ。わかりやすい管理画面で、設置した NAS の状態を一括管理できます。
- 万一のトラブル時は、対処方法を管理画面で確認できます。あわてずに適切な対処ができます。
- RAID の状態やシステム情報、NAS の温度や利用容量などをログやグラフで表示できます。

セキュリティへの配慮

- 通信は NAS から NarSuS データセンターへの一方通行であり、NarSuS データセンターから NAS に接続しません。NAS から送信するデータは NAS の稼働情報であり、NAS 内のユーザーデータは一切送信しません。
- NarSuS の通信経路は HTTPS を使って暗号化されています。
- データセンターは国内のデータセンター専用施設に設置されており、情報セキュリティに十分な配慮をおこなっています。

ご注意

- 本機能を利用するためには、常時ネットワークに接続しておく必要があります。
- 本機能は、IPv4 ネットワークでのみ使用できます。
- インターネットエクスプローラーでご利用の場合、あらかじめ "https://www.narsus.jp" を [インターネットオプション] → [セキュリティ] から [信頼済みサイト] に登録しておいてください。

- ※本製品へのログオンに成功したら、以下のような画面が表示されます。
※ NarSuS 登録をしてから、本製品の設定をおこなってください。



[次へ] をクリック

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

2



①プロキシについて設定

※プロキシ設定が必要な場合は、以下の【プロキシ設定が必要な場合】をご覧ください。

② [設定完了] をクリック

プロキシ設定が必要な場合

[自動設定スクリプトを使用する] または [手動で設定する] にチェックをつけ、プロキシの設定を入力してください。

インターネット接続にプロキシサーバーの設定が必要な場合は、ご利用のネットワーク管理者に設定等をご確認ください。

インターネットに接続できない場合

【インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する】(22 ページ) をご覧ください。

3



● NarSuS に LAN DISK を登録したことがない場合
[NarSuS に初めて登録] をクリック

●すでに他の LAN DISK を登録している場合
[本製品を NarSuS に追加登録] を
クリック

追加で登録する場合



①登録済みの [ID]、[パスワード] を
入力

② [ログイン] をクリック



③画面左下の [製品追加登録] を
クリック

このあと、手順 4 へお進みください。

4 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する

※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。

5 登録が完了したら、Web ブラウザーを閉じる

登録通知メールが送付されますので、保管しておいてください。

以上で NarSuS 登録は完了です。

次に【かんたん設定】(24 ページ)へお進みください。

ご注意

●登録に失敗した場合、以下をご確認ください。

- ・本製品がインターネットに接続可能な環境に設置されていること (LAN ケーブルが正しく接続されていること)
- ・プロキシを介してインターネットへ接続する場合は、プロキシが正しく設定されていること
- ・本製品の TCP/IP 設定を手動でおこなっている場合は、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーが正しく設定されていること
- ・お使いの Web ブラウザーのキャッシュ (Cookie) をクリアして再度お試しください。

使う前に

導入する

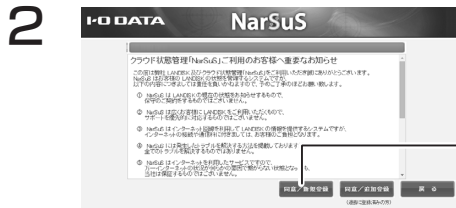
赤ランプ時

故障時の対応

資料

インターネットに接続できない環境で NarSuS に登録する

1 インターネットに接続できるパソコンから、次の URL にアクセスする
<https://www.narsus.jp/user-reg>



内容を確認し、
[同意 / 新規登録] をクリック

追加で登録する場合



① [同意 / 追加登録] をクリック

②登録済みの [ID]、[パスワード] を
入力

③ [ログイン] をクリック

このあと、手順 3 へお進みください。

3 画面の指示にしたがって、必要事項を入力し登録する
※ LAN ポートが複数ある LAN DISK の場合は、「MAC1」の MAC アドレスを入力してください。



登録完了画面に表示された
「ご利用コード」をメモする

※登録通知メールが送付されますので、保管しておいて
ください。

5 本製品にログオンする

6



[次へ] をクリック

7



[本機はインターネット接続していない。] をクリック

8



①メモした[ご利用コード]を入力

②[保存] をクリック

以上で NarSuS 登録は完了です。
次に【かんたん設定】(24 ページ) へお進みください。

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

かんたん設定

かんたん設定では次の項目が設定できます。

- ・LAN DISK の名前 ・IP アドレス設定※ ・日付と時刻設定 ・共有フォルダー設定

※かんたん設定では、本製品のLANポートのIPアドレスを設定し、EXTポートは無効にします。

EXTポートの設定は、[詳細設定]→[基本設定]→[ネットワーク設定]より設定してください。

1 本製品の設定画面を開く

2



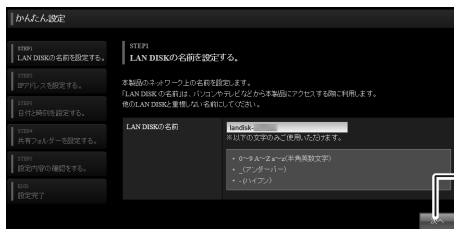
[かんたん設定]をクリック

3



管理者パスワードを入力して、
[ログオン]をクリック

4



本製品の名前を変えることができます。

[次へ]をクリック

5



本製品のLANポートのIPアドレス
を設定できます。

[次へ]をクリック

6



本製品の時刻を設定できます。

[次へ] をクリック

7



共有フォルダのアクセス設定と各サービスの使用設定ができます。

[次へ] をクリック

共有アクセス設定について

本製品や本製品につないだ増設ハードディスクへのファイルの読み書き（アクセス）は、ネットワーク越しにおこないます。ネットワークから本製品に作成されている共有フォルダを通して、ネットワーク上の複数台のパソコンでファイルを共有することができます。

本製品出荷時は、以下のフォルダを設定できます。

初期設定では、管理者のみアクセス権があります。（管理者共有）

[全員共有] を選ぶと、すべてのユーザーからアクセスできます。

また、[Microsoft ネットワーク共有]、[AppleShare ネットワーク共有]、[FTP 共有]については、それぞれの共有機能を使用する場合にチェックをつけます。

共有フォルダ名	説明
disk1	本製品出荷時にすでに作成されている内蔵ディスクの共有フォルダです。
esata1	本製品の [eSATA ポート] に接続した eSATA ハードディスクです。FAT、NTFS、専用形式の場合は、接続するだけでこの共有フォルダが表示されます。
usbx (x はポート番号)	本製品の USB ポートにつないだ USB ハードディスクで、FAT、NTFS、専用形式の場合は、共有フォルダが表示されます。 ※ usb1 ボリュームを共有モード (FAT/NTFS/専用) に設定時に、USB HDD を [USB ポート1] につないだ場合は、[usb1] と表示されます。

あとで、詳細アクセス権の設定や共有フォルダを作成することもできます。方法は『画面で見るマニュアル』をご確認ください。（【画面で見るマニュアルの見かた】（32 ページ）参照）

8



内容を確認して、[設定する] をクリック

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

次の画面が表示された場合

IP アドレスを変更する場合には表示されます。内容を確認してください。



内容を確認して、
[設定する]をクリック

以上で、かんたん設定は完了です。

次に、【本製品を更新する】(27 ページ) へお進みください。

本製品を更新する

本製品の更新には、新しい機能の追加のほかにも本製品の修正など、重要な更新が含まれます。

ファームウェアは、弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/lib>) よりダウンロードできます。定期的に弊社ホームページを確認し、本製品を最新にご利用ください。

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

ご注意

- 本製品を更新する際は、パソコンのファイアウォールの設定を解除してください。解除されていないと、正常に更新できない場合があります。
- ファームウェアの更新中は本製品の電源を切らないでください。更新中に電源を切ると、本製品を破損するおそれがあります。
- 本製品にアクセスしているユーザーがないことを確認するか、パソコンと本製品を 1 対 1 で接続して実行してください。
- バージョンを以前のバージョンに戻すことはできません。
- 更新しても設定やデータは消えませんが、万一を考え必ずバックアップしてください。

1 ファームウェアファイルをダウンロードする

ファームウェアは、弊社ホームページ (<http://www.iodata.jp/lib>) よりダウンロードできます。箱や本製品に記載されている型番で検索してください。

2 本製品の設定画面を開き、[詳細設定] をクリック

3 ① [システム設定] をクリック



② [ファームウェア更新] をクリック

③ ダウンロードしたファームウェアのファイルを設定

※ update_xr_XXX.tgz (XXX はバージョン番号)

④ [確認する] をクリック

4 内容を確認し、[更新する] ボタンをクリック

本製品の [STATUS] ランプが点滅を開始します。

更新後、本製品が再起動します。

※ファームウェアのファイルサイズおよび本製品の状態により変化しますが、2～3分程度かかります。

以上で、本製品の更新は完了です。

添付ソフトをインストールする

添付ソフトは、必要に応じてお使いください。本製品には以下のソフトを添付しております。

※ Windows 用です。対応 OS などについては、各ソフトの取扱説明書をご覧ください。

Magical Finder	ネットワーク上の機器を検索し、IP アドレス設定や設定画面を開くことができます。	
LAN DISK TOOLS	LAN DISK Control Panel	他の添付ソフト（「LAN DISK Admin」「LAN DISK Backup Reader」「LAN DISK Restore」）を統合するためのランチャーソフトです。
	LAN DISK Admin	LAN DISK を複数台導入した場合の設定を一括で管理することができます。
	LAN DISK Backup Reader	本製品が故障し、専用フォーマットの USB HDD からバックアップファイルが読み出せない場合に、パソコンからデータを読み出すことができます。
	LAN DISK Restore	設定データをコピーして流用することで、複数台導入時の初期設定を省力化することができます。
	LAN DISK Key Server	ボリュームの暗号化機能により USB メモリーに保存された暗号化キーをサーバー上に保存して、このサーバーを USB メモリーの代わりとして利用するソフトウェアです。本製品の起動の度に USB メモリーを接続する作業が不要になり、USB メモリーを安全な場所に常に保存しておくことができます。
Sight On	メールソフト感覚の簡単操作で、ユーザーによるファイル更新を知ることができます。ファイル更新時にポップアップで通知します。	
Easy Saver 4 LE	多彩な機能でカスタマイズして、バックアップを設定できます。	
Sync With	フォルダー間を定期的に同期します。簡単なバックアップもできます。	

1 ネットワークに接続されているパソコンを起動する

2 サポート CD-ROM をセットする

3



[サポートソフトインストール]をクリック

このあと、画面の指示にしたがって、インストールするソフトウェアをクリックします。

ネットワークから共有へアクセスする

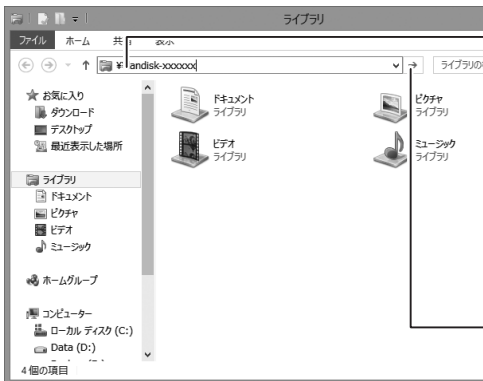
Windows 8、7 の場合

1



クイックバーにある
[エクスプローラー] をクリック

2



①アドレスに
「[#landisk-xxxxxx]」と入力
※ xxxxxx は、LAN ポートの MAC アドレス下 6
桁です。

[LAN DISK の名前] を変更した場合は、変更
した名前を入力します。

② [→] をクリック

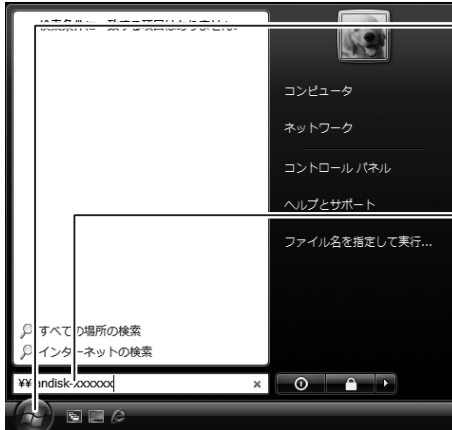
本製品が検索され、本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
出荷時には「disk1」フォルダーがあり、管理者のみがファイルを書き込む
ことができます。

本製品が見つからない場合

【導入時のトラブル】(34 ページ) をご覧ください。

Windows Vista の場合

1



① [スタート] をクリック

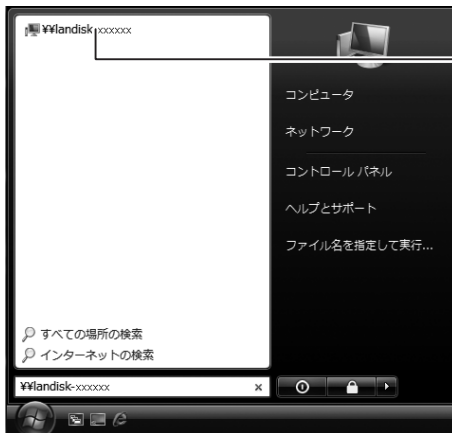
② アドレスに

「\\landisk-xxxxxx」と入力

※ xxxxxx は、LAN ポートの MAC アドレス下 6 桁です。

[LAN DISK の名前] を変更した場合は、変更した名前を入力します。

2



② 検索された

「\\landisk-xxxxxx」を
クリック

本製品が検索され、本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
出荷時には「disk1」フォルダーがあり、管理者のみがファイルを書き込むことができます。

■ 本製品が見つからない場合

【導入時のトラブル】(34 ページ) をご覧ください。

Mac OS の場合

1 本製品の IP アドレスをメモする

本製品の IP アドレスの調べかた

Magical Finder の [IP アドレス] の項目に表示されます。

2 [移動] メニュー → [サーバへ接続] をクリック

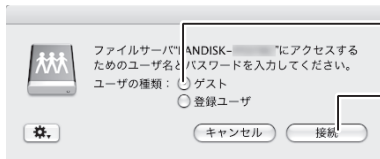
3



① afp:// 本製品の IP アドレス / を入力

② [接続] をクリック

4



① [ゲスト] を選ぶ

② [接続] をクリック

本製品が検索され、本製品の共有フォルダーの一覧が表示されます。
出荷時には「disk1」フォルダーがあり、管理者のみがファイルを書き込むことができます。

本製品が見つからない場合

【導入時のトラブル】(34 ページ) をご覧ください。

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

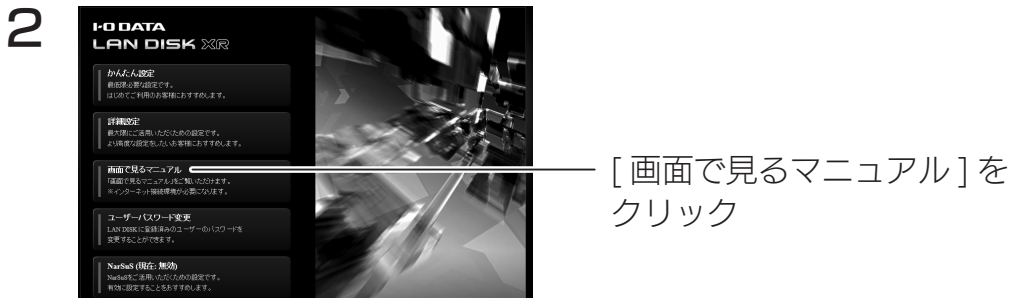
画面で見るマニュアルの見かた

『画面で見るマニュアル』(PDF)は、各機能の設定方法を説明しています。また、【困ったときには】でトラブルシューティングも記載しておりますので、各設定の確認やお困りの際には、以下の方法で『画面で見るマニュアル』をご確認ください。

※最新のマニュアルは弊社サイトからダウンロードできます。 <http://www.iodata.jp/lib/>

本製品の設定画面から見る場合

- 1 本製品の設定画面を開く
※【設定画面を開く】(16 ページ) 参照



サポートソフト CD-ROM から見る場合

- 1 サポートソフト CD-ROM をパソコンにセットする



電源を切る場合

本製品の電源を切る場合は、必ず以下のいずれかの手順にしたがってください。

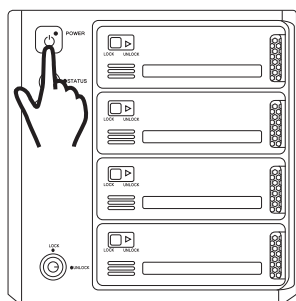
ご注意

- 外付 HDD やプリンターがある場合は、本製品の電源を切ってから、外付 HDD やプリンターの電源を切ってください。
- ファイルコピー中に本製品や外付 HDD の電源を切るとコピーの処理が正常におこなわれません。本製品や外付 HDD のアクセスランプを確認の上、電源を切ってください。
- 本製品設定中は本製品の電源を切らないでください。
- 本製品起動処理中は本製品の電源を切ることはできません。
- 長期間使用しない場合は、電源コードをコンセントから外しておくことをおすすめします。

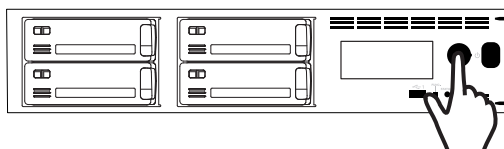
電源ボタンを押す

「ピッ」と音が鳴り、[STATUS] ランプ (緑色) が点滅するまで押します。

▼ HDL-XRW シリーズ



▼ HDL-XR2UW シリーズ



本製品前面の POWER ランプをご確認ください。

シャットダウンが終了すると自動的に電源が切れ、POWER ランプが赤点灯 (スタンバイ状態) になります。

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

導入時のトラブル

ネットワークから本製品の共有にアクセスできない

- 本製品の電源が入っているか (STATUS ランプが点灯しているか)、LAN ケーブルが LAN ポートに接続されているか確認してください。
(パソコンを接続しているポートのランプが点灯または点滅していることも確認してください。)
- セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を無効にすると検索される場合があります。詳しくは、セキュリティソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
- お使いのパソコンの IP アドレスが「192.168.1.xxx」に設定されている環境で、本製品の IP アドレスが「192.168.0.200」に設定されているなど、ネットワークアドレス (セグメント) が合っていないことが考えられます。本製品の IP アドレスの設定を、お使いのネットワーク環境にあわせて設定してください。
- パソコンに複数の LAN ポートがある場合は、本製品と通信する LAN ポート以外を無効にしてお試しください。
※無線 LAN 接続をしている場合は、一時的に有線 LAN 接続をしてお試しください。

ランプが赤く光った時の対応

万が一に備えて、定期的にバックアップしてください

RAID 構成が崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。

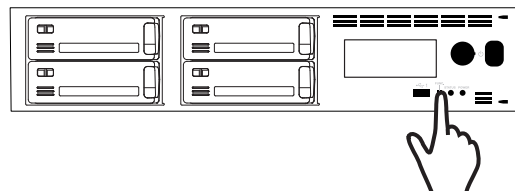
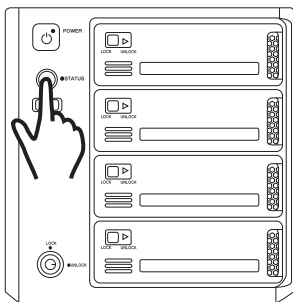
バックアップして、万が一の RAID 崩壊に備えてください。

ランプが赤点灯・点滅したら

ランプが赤く点灯・点滅し、ブザーが鳴った場合は、状況を確認する必要があります。

ブザーが鳴り続く場合は、FUNC ボタンを押しブザーを止める

※問題が解消されていない場合は、またブザーが鳴り出すことがあります。



次に、【ランプの状態を確認する】(36 ページ) をご覧になり、状況を確認してください。

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

ランプの状態を確認する

ランプの状態

POWER ランプ	消灯	コンセントにつないでいない
	赤点灯	電源は切（コンセントに、つないでいる）
	緑点灯	電源は入
STATUS ランプ	緑点灯	正常状態
	緑点滅	システム処理中
	赤点灯	警告がある状態
	赤点滅	エラーがある状態
ACCESS ランプ	青点灯（高速点滅）	正常状態（アクセス中は点滅する）
	赤点灯	RAID 崩壊時、該当 HDD は正常
	赤点滅	該当 HDD が故障
	消灯	該当 HDD が未接続

対処など

状態操作		STATUS	ACCESS	ブザー	対応など
システム起動中		緑点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	-	-
システム起動直後	正常	緑点灯	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピー」と鳴る	-
	DHCP 失敗	赤点灯	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	DHCP サーバーを設置する、固定 IP 設定などネットワーク設定を再検討してください。
	起動停止	赤点滅	赤点灯：接続されたスロット	「ピーピーピー…」と鳴りつづける	システムを起動可能なディスクが接続されていません。
	RAID 構成異常	赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、…」と鳴りつづける	RAID の構成ディスクに問題が発生しています。
	RAID 崩壊	赤点滅	赤点灯：接続されたスロット	「ピーボーピーボー…」と鳴りつづける	RAID が崩壊しています。【RAID 崩壊したときの対処】(41 ページ) を参照してください。
	UPS エラー	赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ドレミドレミ…」と鳴りつづける	UPS 警告が有効で UPS が接続されていない、または、停電状態です。
	使用量警告	赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピビッピビッ…」と鳴りつづける	使用量警告が有効で、使用量警告対象ユーザー、グループ、共有フォルダーが存在しています。
使用中	RAID 構成異常	赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、…」と鳴りつづける	RAID の構成ディスクに問題が発生しています。
	RAID 崩壊	赤点滅	赤点灯：接続されたスロット	「ピーボーピーボー…」と鳴りつづける	RAID が崩壊しています。【RAID 崩壊したときの対処】(41 ページ) を参照してください。
	UPS エラー	赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ドレミドレミ…」と鳴りつづける	UPS 警告が有効で UPS が接続されていない、または、停電状態です。
定期警告	RAID 構成異常	赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、…」と鳴りつづける	RAID の構成ディスクに問題が発生しています。
	RAID 崩壊	赤点滅	赤点灯：接続されたスロット	「ピーボーピーボー…」と鳴りつづける	RAID が崩壊しています。【RAID 崩壊したときの対処】(41 ページ) を参照してください。
	UPS エラー	赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ドレミドレミ…」と鳴りつづける	UPS 警告が有効で UPS が接続されていない、または、停電状態です。
	使用量警告	赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピビッピビッ…」と鳴りつづける	使用量警告が有効で、使用量警告対象ユーザー、グループ、共有フォルダーが存在しています。
内蔵カードリッジ取り外し操作	取り外し成功	赤点滅	アンロックしたスロットは、消灯。その他は [ACCESS] ランプ表に従う	「ピッ、ピッ、ピッ、ピッ、…」と鳴りつづける	正常終了しました。取り外した結果、RAID 構成異常となります。
	取り外し不可	赤点灯または赤点滅	アンロックしたスロットは青点灯。その他は [ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	システム使用中のため取り外し処理が実行できない状態になります。このままスライドスイッチをロックの位置へ戻してください。

状態操作		STATUS	ACCESS	ブザー	対応など
内蔵カートリッジ取り付け操作	取り付け成功	緑点灯または赤点滅	ロックしたスロットは青点灯。	「ピー」と1回鳴る	正常終了しました。
	取り付け失敗	赤点滅	ロックしたスロットは赤点滅。	「ピーピーピー」と3回鳴る	接続したカートリッジは故障または容量不足のため、内蔵 RAID に使用できません。
ミラーリングモード時に eSATA ハードディスクの接続時	接続成功	緑点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピー」と鳴る	正常終了しました。
	接続失敗	赤点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	接続したディスクは、FAT/NTFS によるフォーマットがされており、データがコピーされていることを確認したため組み込みを停止しました。
	接続失敗	赤点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	接続したディスクは、エラーまたは容量不足のため、内蔵 RAID に使用できません。
共有モード (FAT/NTFS/専用) 時に外付け eSATA, USB1, USB2 を接続	接続成功	緑点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピー」と鳴る	正常終了しました。
	接続失敗	赤点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	使用できないディスクを接続した。ボリューム情報を確認してください。
クイックコピーモード時に USB 1 に USB ディスクを接続	接続成功	緑点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピー」と鳴る	正常終了しました。
	接続失敗	赤点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	クイックコピーできないディスクを接続しました。
クイックコピーを実行時	成功	緑点灯	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピッピッピッ」と鳴る	正常終了しました。
	失敗	赤点灯	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	クイックコピーに失敗しました。ログを確認してください。
ボリューム設定変更を実行	成功	緑点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピー」と鳴る	正常終了しました。
	失敗	赤点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	設定変更に失敗しました。画面表示およびログを確認してください。
ボリューム操作を実行	成功	緑点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピー」と鳴る	正常終了しました。
	失敗	赤点灯または赤点滅	[ACCESS] ランプ表に従う	「ピーピーピー」と鳴る	設定変更失敗しました。画面表示およびログを確認してください。
新ファームウェアを検出		「緑点滅 (4回) → 消灯」の繰り返し	[ACCESS] ランプ表に従う	-	新ファームウェアが公開されていることを検出しました。以下のホームページを確認し、最新ファームウェアをダウンロードの上、【画面で見るマニュアル】の【ファームウェアを更新する】の手順にしたがいファームウェアアップデートを行ってください。 http://www.iodata.jp/support/product/hdl-xr

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

故障時の対応

カートリッジの交換方法

カートリッジを交換する前に、どの HDD が故障しているか、RAID 構成は無事なのかを確認します。

【ランプが赤点灯・点滅したら】(35 ページ) をご覧になり、故障の状況を確認してください。

特定のランプが赤点滅した時は、カートリッジの交換が必要になります。
この場合は、カートリッジを交換してください。

赤点滅する要因を確認する

- 製品の設定画面の [情報表示] → [ボリューム情報] の「構成ディスク」、または、「ボリューム状態」に「故障、または容量不足」と表示されている場合
- ログでディスク故障が記録された場合
- 「ディスクエラー通知メール」でディスク故障メールが届いた場合

ご注意

- RAID 崩壊した本製品のデータを復旧することはできません。万一来備えて定期的にバックアップをお取りください。
- カートリッジ (HDD) は、故障時以外には取り外さないでください。不用意に取り外すと冗長性が失われたり、RAID 崩壊しすべてのデータを失い、修復不能な状態になる場合があります。
- カートリッジの取り付け・取り外しは、必ず 1 台ずつ、以下の説明通りにおこなってください。
- 本製品の電源が入っている状態で、カートリッジの取り付け / 取り外しができます。ただし、STATUS ランプが点灯 (点滅時は除く)、該当カートリッジの ACCESS ランプが消灯していることを確認した上で取り外してください。
- オプションカートリッジについては、【オプション品】(8 ページ) をご確認ください。

故障したカートリッジを外す

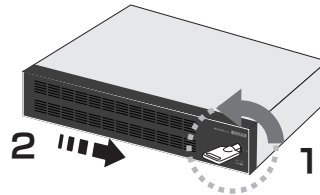
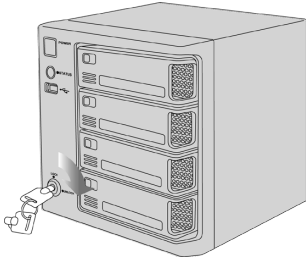
1 前面の [カートリッジ固定 LOCK] を開錠 ([UNLOCK]) する

● HDL-XRW シリーズの場合

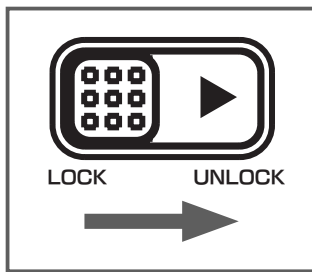
添付のロックキーを [カートリッジ固定 LOCK] に挿し、時計回りにまわして [UNLOCK] にします。

● HDL-XR2UW シリーズの場合

フロントカバーのロックを OPEN に回し、フロントカバーを右へスライドさせ、パネルを持ち上げるように外します。



2



取り外すカートリッジのスライドスイッチを右 (UNLOCK) に移動する

カートリッジの ACCESS ランプが消灯します。

※ ACCESS ランプが消灯しない場合は、取り外せません。スライドスイッチを再度 [LOCK] に戻してください。

3

カートリッジの取っ手を手前に引いて、取り出します。

次に、故障したカートリッジを外します。次ページへお進みください。

使う前に

導入する

赤ランプ時

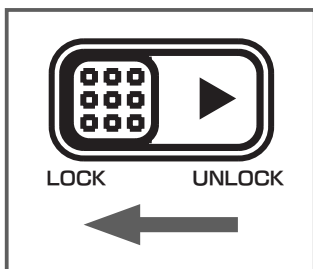
故障時の対応

資料

カートリッジを取り付ける

1 新しいカートリッジをスロットの奥まで挿入する

2



挿入したカートリッジのスライドスイッチを左（LOCK）に移動する

3 挿入したカートリッジの ACCESS ランプが青点滅から青点灯になるまで待つ

4 すべてのカートリッジを取り付けた後、カートリッジ固定 LOCK を LOCK にします。

- HDL-XRW シリーズの場合、添付のロックキーをカートリッジ固定 LOCK に挿し、反時計回りにまわして、LOCK します。
- HDL-XR2UW シリーズの場合、フロントカバーを本製品の右方向から本体前面のロック穴に鍵機構部を通すように差し込み、フロントカバーを左方向にスライドさせます。その後、添付のロックキーをフロントカバーのカートリッジ固定 LOCK に挿し、反時計回りにまわして、LOCK にします。

ご注意

STATUS ランプおよび ACCESS ランプが赤点滅した場合は、取り付けに失敗しています。この状態は、システムに取り付け処理をおこないましたがシステムで使用できない状態です。

以下の対処をご確認ください。

- 対処① 本製品はディスクエラーの回数を記録しており、エラーが多数発生したディスクは RAID を構成するディスクとして使用しないようにしています。新しいカートリッジを準備し、交換してください。
- 対処② 本製品はディスクを接続されたとき、ディスク自身の故障診断機能 (S.M.A.R.T.) を利用してディスクが壊れていないか確認します。S.M.A.R.T. 情報により故障と判定されるディスクは、使用しないようにしています。新しいカートリッジを準備し、交換してください。
- 対処③ RAID に組み込むために必要なディスク容量が足りないカートリッジを接続したことが考えられます。この場合、システムは RAID を構成するディスクとして使用できないため、適切なディスク容量を持つカートリッジに交換してください。

RAID 崩壊したときの対処

以下の「RAID 崩壊モードの状態」の場合、内蔵ボリュームに異常が発生し、RAID が崩壊した状態 (RAID 崩壊モード) となっています。

RAID が崩壊した状態になった場合、内蔵ボリュームに保存されたデータの一部またはすべては失われている可能性があります。

▼ RAID 崩壊モードの状態

ランプ・ブザー	状態	補足
STATUS ランプ	赤点滅	-
ACCESS ランプ	赤点灯または赤点滅	赤点滅 故障したカートリッジです。交換が必要です。
		赤点灯 そのまま使えるカートリッジです。
		消灯 使えないカートリッジです。 正しいカートリッジを取り付けてください。
ブザー	「ピーポーピーポー」と鳴り続けている	FUNC ボタンを押すとブザーは停止します。

対処 1 データをできるだけ回収する

本製品の電源をいったん完全に切り、再び電源を入れてください。

場合によっては、保存されたデータにアクセスできることがあります。

この場合でも取り出したデータについては保証されません。

データをバックアップした後は、速やかに故障したカートリッジを交換してください。

再起動してもアクセスできない

【RAID 強制復帰】(42 ページ) を試すことができます。

ただし、データ復旧業者に依頼してもデータを回復できなくなる場合があります。

対処 2 RAID 構成を正常な状態に戻す

①故障したカートリッジを確認し、交換します。(【カートリッジの交換方法】(38 ページ))

② RAID を再設定します。(【RAID 再設定 (再フォーマット)】(43 ページ))

RAID を再設定すると、データはすべて失われます

本製品の共有フォルダーの設定、共有フォルダー内のデータは失われます。

(ユーザー、グループの設定をはじめとする各種設定は引き継ぎます。)

ミラーディスクがある場合

保管したミラーディスクから、RAID 構成を復旧できます。

操作について、詳しくは『画面で見るマニュアル』をご覧ください。

出荷時状態に近づけるには

[システム設定] → [システム初期化] をクリックし、[内蔵 HDD の完全消去を行う] にチェックを付け、実行してください。

RAID 強制復帰

RAID が崩壊した時点で、保存されたデータの一部または全部は、すでに失われています。

RAID 強制復帰をすると、崩壊した RAID の復帰処理を試みます。

成功した場合は、一部データが破損した状態で、内蔵ボリュームに保存されたデータに再びアクセスできる場合があります。

この場合でも取り出したデータについては保証されません。

データ復旧業者に依頼する場合は、この操作をしないでください

この操作をすると、データ復旧業者に依頼してもデータを回復できなくなる場合があります。

データ復旧する場合は、RAID 強制復帰を実行せずにデータ復旧業者へご依頼ください。

1 設定画面を開き、[詳細設定] をクリックする

2



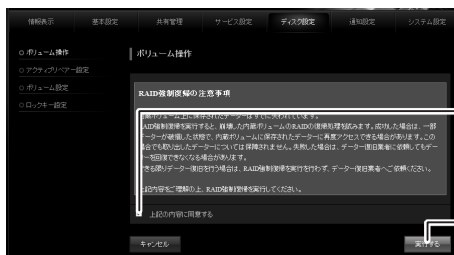
① [ディスク設定] をクリック

② [ボリューム操作] をクリック

③ [RAID 強制復帰] を選ぶ

④ [実行] をクリック

3



① 注意事項を確認

② [上記の内容に同意する] にチェック

③ [実行する] をクリック

完了画面が表示されたら、RAID 強制復帰は完了です。

正常に強制復帰できた場合は、復旧したボリュームをご確認ください。

取り出したデータについては、保証されません。

※強制復帰できた場合でも共有フォルダーにアクセスできない場合があります。その場合、データを取り出すことはできません。

速やかに故障したカートリッジを交換してください

RAID 強制復帰に成功した場合でも、故障したカートリッジが残っていると、また異常および RAID 崩壊のおそれがあります。速やかに故障したカートリッジを正常なものと交換し、RAID を再設定してください。【RAID 再設定 (再フォーマット)】(43 ページ) 参照

RAID 再設定（再フォーマット）

ここでは、RAID の強制復帰に失敗した場合など、正常な RAID ボリュームを構成できなくなった場合に、RAID を再設定（再フォーマット）の手順を説明します。

データはすべて失われます


RAID 再設定をすると、内蔵ボリュームを作成し直します。そのため、内蔵ボリューム上に作成した共有フォルダーや、共有フォルダー内のデータはすべて失われます。

※ユーザー、グループの設定をはじめとする各種設定は引き継ぐことができます。

1 故障したカートリッジを正常なカートリッジに交換する
 (【カートリッジの交換方法】(38 ページ) 参照)

2 設定画面を開き、[詳細設定] をクリックする

3



① [ディスク設定] をクリック
 ② [ボリューム操作] をクリック
 ③ [RAID 再設定 (再フォーマット)] を選ぶ
 ④ [実行] をクリック

4



① 注意事項を確認
 ② [実行する] をクリック

完了画面が表示されます。

内蔵ボリューム上の共有フォルダーは削除されていますので、再度設定してください。

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

文字制限一覧

各項目には、以下の使用文字の制限があります。(パスワードに空白文字を使用しないでください。)

項目名	文字数		使用できる文字		使用できない文字列
	最小	最大	半角	全角	
管理者パスワード	4	20	表 1	×	
LAN DISK の名前	1	15	表 2	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数字のみの文字列
LAN DISK の説明	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
ユーザー名	1	20	表 2	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数値のみの文字列 ・大文字小文字のみが異なるユーザー名
ユーザーフルネーム	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
ユーザーコメント	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
ユーザーパスワード	0	20	表 1	×	
グループ名	1	20	表 2	×	・ハイフンから始まる文字列 ・数値のみの文字列 ・大文字小文字のみが異なるグループ名
共有フォルダー	1	半角 27 全角 9	表 4	○	・ドル記号で終わる文字列 ・半角スペースで始まる文字列 ・半角スペースで終わる文字列 ・半角スペースが連続する文字列 ・# で始まる文字列
共有フォルダー内に作成するフォルダー / ファイル名	1	半角 255 全角 85	制限なし	制限なし	使用できる名前は、クライアント OS により制限されます。 FTP でシフト JIS を使用する場合は、画面で見るマニュアル内【困ったときには】をご覧ください。
共有フォルダーコメント	0	半角 48 全角 48	表 4	○	
アクセスパスワード	0	20	表 1	×	
ワークグループ名	1	15	表 2	×	LAN DISK の名前と同じ文字列
NT ドメイン名	1	15	表 2	×	LAN DISK の名前と同じ文字列
NT ドメインコントローラー名	1	15	表 2	×	LAN DISK の名前と同じ文字列
ドメイン名 (NetBIOS 名)	1	15	表 2	×	LAN DISK の名前と同じ文字列
ドメイン名 (フル DNS 名)	1	155	表 3	×	ピリオドで区切られた各フィールドは 63 文字以内
ドメイン管理者ユーザー名	1	20	表 3	×	
ドメイン管理者パスワード	0	20	表 1	×	
ドメインコントローラーの名前	1	155	表 3	×	ピリオドで区切られた各フィールドは 63 文字以内
メール基本設定 認証設定 (ユーザー名)	1	155	○	○	
メール基本設定 認証設定 (パスワード)	0	20	○	○	

【表：使用できる半角文字】 ※グレーの文字は使用できません。

▼表 1

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
0x00	[NUL]	[SOH]	[STX]	[ETX]	[EOT]	[EHO]	[ACK]	[BEL]	[BS]	[HT]	[LF]	[VT]	[FF]	[CR]	[SO]	[SI]
0x10	[DLE]	[DC1]	[DC2]	[DC3]	[DCA]	[NAK]	[SYN]	[ETB]	[CAN]	[EH]	[SUB]	[ESC]	[FS]	[GS]	[RS]	[US]
0x20	[SPC]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
0x30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0x40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0x50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
0x60	~	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0x70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	[DEL]

▼表 2

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
0x00	[NUL]	[SOH]	[STX]	[ETX]	[EOT]	[EHO]	[ACK]	[BEL]	[BS]	[HT]	[LF]	[VT]	[FF]	[CR]	[SO]	[SI]
0x10	[DLE]	[DC1]	[DC2]	[DC3]	[DCA]	[NAK]	[SYN]	[ETB]	[CAN]	[EH]	[SUB]	[ESC]	[FS]	[GS]	[RS]	[US]
0x20	[SPC]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
0x30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0x40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0x50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
0x60	~	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0x70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	[DEL]

▼表 3

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
0x00	[NUL]	[SOH]	[STX]	[ETX]	[EOT]	[EHO]	[ACK]	[BEL]	[BS]	[HT]	[LF]	[VT]	[FF]	[CR]	[SO]	[SI]
0x10	[DLE]	[DC1]	[DC2]	[DC3]	[DCA]	[NAK]	[SYN]	[ETB]	[CAN]	[EH]	[SUB]	[ESC]	[FS]	[GS]	[RS]	[US]
0x20	[SPC]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
0x30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0x40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0x50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
0x60	~	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0x70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	[DEL]

▼表 4

	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
0x00	[NUL]	[SOH]	[STX]	[ETX]	[EOT]	[EHO]	[ACK]	[BEL]	[BS]	[HT]	[LF]	[VT]	[FF]	[CR]	[SO]	[SI]
0x10	[DLE]	[DC1]	[DC2]	[DC3]	[DCA]	[NAK]	[SYN]	[ETB]	[CAN]	[EH]	[SUB]	[ESC]	[FS]	[GS]	[RS]	[US]
0x20	[SPC]	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/
0x30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0x40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0x50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[\]	^	_
0x60	~	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0x70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	[DEL]

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

ActiveImage Protector Desktop インストールのお問い合わせ

ActiveImage Protector は、ネットジャパン社が開発したイメージングバックアップソフトです。Windows パソコンのデータを本製品にイメージでバックアップし、いざというときに復元できます。

- データファイルだけでなく OS や起動情報、アプリケーションなど、現在動作している内容を丸ごとバックアップできますので、パソコンの調子が悪くなった場合でも簡単にバックアップイメージから復元できます。
- バックアップ機能も豊富な高速・高性能バックアップソフトです。

フルバックアップ	ハードディスク丸ごとバックアップ
増分バックアップ	前回バックアップ時点からの変更点のみをバックアップ
重複排除機能	保存先の容量を大幅に縮小し、バックアップの容量を抑制

- パソコンの電源を切る際に自動的にバックアップするオプションもありますので、運用も簡単です。

ActiveImage Protector に関する詳細はこちらをご覧ください。
<http://activeimage.jp/products/desktop>



本製品では、3クライアント分のライセンスを添付しています。
(3台までのWindowsパソコンのデータを本製品に保存できます。)
添付の [ActiveImage Protector Desktop Edition] CD-ROM を使用してインストールしてください。

インストールのお問い合わせについて

株式会社ネットジャパン

電話番号: 03-5256-0860

email: Active-Support@netjapan.co.jp

サポートサービス受付時間: 09:30 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:00

(土・日・祝日およびネットジャパン休業日を除く)

※インストール以外のお問合せについては、別途ネットジャパン社より

サポートサービスをご購入いただく必要があります。

本製品のアフターサービス

本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。

お問い合わせについて

お問い合わせいただく前に、**以下をご確認ください**

- サポートページのQ&Aを参照
- 最新のソフトウェアをダウンロード

<http://www.iodata.jp/support/>



それでも解決できない場合は、**サポートセンターへ**

電話：050-3116-3025

※受付時間 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日をのぞく）

FAX：076-260-3360

インターネット：http://www.iodata.jp/support/

<ご用意いただく情報>

製品情報（製品名、シリアル番号など）、パソコンや接続機器の情報（型番、OSなど）

個人情報の取り扱いについて

個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（<http://www.iodata.jp/privacy.htm>）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。



使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

修理について

修理を依頼される場合は、以下の要領でお送りください。

ハードウェア保証書または
お買い上げ時のレシート

メモ

- 氏名
- 住所
- 電話番号
- FAX 番号
- メールアドレス
- 症状

※メモの代わりにWeb掲載の
修理依頼書を印刷すると便利です。

本製品

梱包は厳重に!

弊社到着までに
破損した場合、有料修理と
なる場合があります。

宅配便で送付

紛失をさけるため宅配
便でお送りください。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

- 送料は、発送時はおお客様ご負担、返送時は弊社負担です。
- 有料修理となった場合は先に見積をご案内します。(見積無料)
金額のご了承をいただいてから、修理をおこないます。
- 内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。
バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
- お客様が貼られたシール等は、修理時に失われる場合があります。
- 保証内容については、ハードウェア保証規定に記載されています。
- 修理品を送る前に製品名とシリアル番号 (S/N) を控えてください。

修理について詳しくは以下をご確認ください

<http://www.iodata.jp/support/after/>



ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定（以下「本保証規定」といいます。）に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品（以下「本製品」といいます。）の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書（本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。）等にしがった正常な使用状態で故障した場合、ハードウェア保証書をご提示いただく事によりそこに記載された期間内においては、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合には保証の対象とはなりません。

- 1) 保証書に記載されたご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 修理ご依頼の際、ハードウェア保証書のご提示がいただけない場合
- 3) ハードウェア保証書の所定事項（型番、お名前、ご住所、ご購入日等〔但し、ご購入日欄については、保証期間が無期限の製品は除きます。〕）が未記入の場合または字句が書き換えられた場合
- 4) 中古品でご購入された場合
- 5) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 6) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 7) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 9) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 10) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 11) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 12) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 13) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品とご購入日等の必要事項が記載されたハードウェア保証書を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品は弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等について、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。

Our company provide s the service under this warranty only in Japan.

使う前に

導入する

赤ランプ時

故障時の対応

資料

【技術動向、導入事例などについて】

次のサイトに、弊社製ネットワークハードディスク（NAS）
「LAN DISK シリーズ」に関するホワイトペーパーを掲載して
います。必要に応じてご確認ください。

<http://www.iodata.jp/solutions/whitepaper/>



【ご注意】

- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、別段の定めが無い限り、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
- 2) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
- 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
- 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です。

型番	HDL-XRWシリーズ、HDL-XR2UWシリーズ
保証期間	ご購入日より 3 年間有効です

☆ お 客 様	フリガナ	
	お名前	様
	TEL. () -	
	〒□□□□-□□□□	
	ご住所	

「ハードウェア保証規定」をご確認の上、☆印の箇所に楷書で明確にご記入ください。
 記入漏れがありますと、保証期間内でも無料修理が受けられませんのでご注意ください。
 販売店欄は販売店でご記入いただくものです。記入がない場合はお買い上げの販売店
 にお申し出ください。
 また、本保証書は再発行いたしませんので紛失しない様大切に保管してください。

販 売 店	ご購入日	
	住所・店名	
	TEL. () -	印

ご販売店様へ

1. お客様へ商品をお渡しする際は必ず販売日をご記入日欄に記入し貴店名/住所、貴店印をご記入ご捺印ください。
2. 記載漏れがありますと、保証期間内でも無償修理が受けられません。


取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、ハードウェア保証規定に従った保証を行いますので、商品と本保証書をご持参ご提示の上お買い求めの販売店または、弊社(修理センター)にご依頼ください。

I-O DATA



株式会社 **アイ・オー・データ機器**

【マニュアルアンケートはこちら】
 よりよいマニュアル作りのため
 アンケートにご協力願います。



進化する明日へ Continue thinking

株式会社 **アイ・オー・データ機器**

ホームページ <http://www.iodata.jp/>